

第1回 開塾式

[日 時] 令和元年5月18日（土）18:30～20:30

[場 所] 石巻専修大学 5号館 3階学生ホール

[テーマ] 世界に誇れる石巻地域にしよう～発信！未来へ～

[使用したテキスト] 『耕人』8-1号.pdf（塾長から塾生へのメッセージ）

[活動内容詳細]

●塾長挨拶（木村塾長）

概要：震災による心の復興はこれからですが、令和の年号にふさわしい飛躍の第8期にしたいと考えています。耕人塾の実践事項は、昨年度に引き続き「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」ですが、今年度は「主体・楽しさ・創造」をコンセプトにしました。今年度は、「プロジェクトⅠ」を中心に、焦点を絞った活動を継続し、その成果を発表する機会を設けたいと考えています。



木村塾長から、自分の「人間力」を磨き、地域や社会に貢献できるよう、塾生を激励されました。

●活動計画とテーマ学習の進め方、心構えについて（前田 教学委員長）



●耕人塾OBから（耕人塾第1期生 高橋智幸 教学委員）



高校生の時に、耕人塾第1期生として学びました。現在は、社会人として金融機関に勤務しながら、地域の中学生に硬式野球を指導しています。耕人塾第8期を、みんなで楽しみながら、前向きな行動力で創り上げてほしいと塾生にエールを送りました。

●自己紹介

班ごとに分かれて、塾生の耕人塾入塾の動機や活動に参加して身に付けたいことなどに触れながら、塾生同士が自己紹介を行い、各自の考えを発表しました。

- コミュニケーション力を高めたい。
- 石巻をもっとよい街にしたい。
- 積極的に行動できる人になりたい。
- 石巻のために何かしたい。
- 16年間生まれ育った石巻に恩返しをしたい。
- 今までしたことのない経験を試してみたかった。
- 挨拶を学び、日常生活に生かす。

- 毎回新たな発見をする。
 - 石巻が大好きなので、自分にできることを出し尽くしたい。
 - リーダーシップを身に付けたい。
 - 周りの人たちと話せるようになりたい。
-
- 活動を通して地域の役に立ちたい。
 - 社会人として必要な力を身に付けたい。
 - 人間性を高めたい。
 - ボランティアに興味があったから。
 - 積極的に人の役に立てる人になりたい。
 - 積極的に行動できるような人になりたいです。
 - ボランティアを積極的に行いたい。
 - コミュニケーション能力の向上を図りたい。
 - 社会性の向上を図りたい。



- コミュニケーション力を高めたい。
- 社会に貢献できる人間になりたい。
- 自主性を身に付けたい。
- ボランティアの心を身に付けたい。
- 自分に何ができるのか知りたい。
- 積極的に地域のために活動したい。
- 人間性を高めたい。
- 人に対する思いやりを学びたい。
- 石巻に貢献できるようになりたかったから。
- 石巻市をよりよい地域にしたい。

<海外のハイスクールで学ぶ塾生の抱負>

- 耕人塾での学びをネットを通して続けたいと考えています。 6年間継続参加を目指し、「当たり前のことを素晴らしくやる」精神を忘れずに、志を高く持ち人間力を磨きたいとの思いから入塾を希望しました。他の人の意見を聞き、自分の意見を言い、自ら考え行動できる輝く人になりたいです。

●全体学習（「プロジェクトI」について）

プロジェクト「I」は、「であい」と「ふれあい」と「関わりあい」の3つの「あい」＝「I」になります。石巻地域を世界に誇れるまちにするためにどんなことをどのようにやっていけばよいかを考えるために、昨年度の活動を振り返りました。



「プロジェクトI」について、アドバイザーの平塚 教学委員から説明されました。

<教学委員からの話>

- 石巻市環境保全リーダーの会：鷹見 慶一郎 教学委員

「プロジェクトK」では、“ゴミを減らす”ことと“出たゴミを集める”ことを実践します。川開き祭りの「ゴミゼロステーション」の設置など紹介され、環境問題などを具体的にどのように連携したらよいかお話されました。

- 一般社団法人ISHINOMAKI2.0 理事：斉藤 誠太郎 教学委員



ISHINOMAKI2.0の活動に触れ、「プロジェクトⅠ」では、誰かが用意したものでなく、自分の思いから生まれたものとして、石巻地域を世界に誇れるまちにするためにどんなことをどのようにやっていけばよいかを考えるきっかけになりました。

<「プロジェクトⅠ」として取り組む内容の確認>

「20年後に住みたい石巻地域とは？」 「そのために自分たちができることは何か？」



教学委員と塾生が一緒になって「住みよいまちづくりに関する内容」を考えます。



昨年度まで塾生だった大学生は教学委員になり、塾生と「石巻地域を盛り上げるに関する内容」について、意見の交流を行っています。



「石巻地域の人々の意識を高めることに関する内容」について、塾生と教学委員が楽しく交流を深めています。



塾生同士の意見交流も深まり、自分たちが取り組んでみたいことが検討することができました。

●閉会のあいさつ（横江 運営委員長）

昨年度まで指導委員の名前を使っていましたが、今回から「教学委員」になりました。教えるとともに、自ら学ぶことを大事に受け止めたからです。「変わることはこわくない。わくわくしたいな、明日の自分に」（折原みと）という詩があります。わくわくする思いをみんなで共有しながら、第8期を創ってほしいことを伝え、締めくくりました。

メニュー

ホーム	▼
耕人塾の活動	▼
令和2年度の活動	>
令和元年度の活動	▼
第13回 「耕人塾」第8期 閉塾式	
第12回	
第11回	
第10回	
第9回 実践活動	
第7・8回 宿泊研修	
第6回 実践活動	
第5回	
第4回 実践活動	
第3回	
第2回	
第1回 開塾式	
平成30年度の活動	>
平成29年度の活動	>
平成28年度の活動	>
平成27年度の活動	>
平成26年度の活動	>
平成25年度の活動	>
平成24年度の活動	>

